

りっとう議会だより

あなたと議会を結ぶ

No. 167

2013年8月1日発行

発行/栗東市議会 編集/議会広報編集特別委員会 〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号
TEL 077-551-0137 FAX 077-551-0146 メールアドレス/ gikai@city.ritto.lg.jp

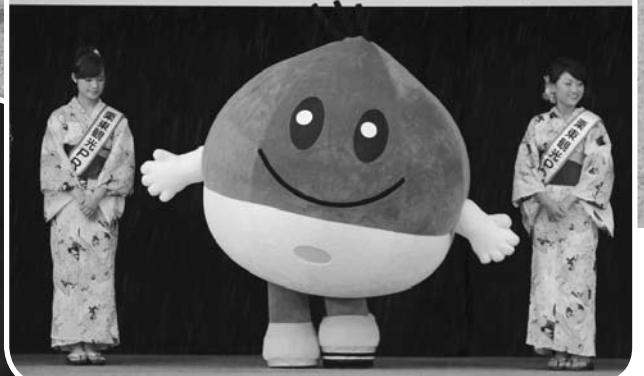


▲葉山東幼稚園
「夏まつり」



平成25年6月定例会は、市長から提案された19議案(人事2件、条例9件、予算5件、その他3件)と、意見書について審議しました。

みんなの夏だ!笑顔と元気の夏まつり!!
りっとう市民夏



◀りっとう市民夏まつり

委員会報告 3

各常任委員会が議案を審査

個人質問 5

議員がそれぞれのテーマについて聞きました

人事 8

正・副議長決まる

議会報告会・懇談会 9

議会報告会・懇談会を開催しました



6月定例会

採決結果の後に、「別表」とある議案の採決結果については、3ページの表をご覧ください。「全」とある議案は全員一致で可決されましたので表への記載は省略しています。

人事

人権擁護委員に、夏見 きみ子 氏

任期満了に伴い、夏見きみ子氏を推薦することについて、意見を求められました。

(適任)

監査委員に、下田 善一郎 氏

地方自治法の規定により議会議員のうちから選任する者として、下田善一郎氏を選任することについて同意を求められました。

(同意)

専決

条例の一部改正

税条例

地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、独立行政法人森林総合研究所が行う一定の事業の施行に伴い指定された仮換地等に係る固定資産税・特別土地保有税の納税義務者の特例措置の廃止等、所要の改正をします。

(承認・全)

国民健康保険税条例

地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、特定世帯に係る世帯別平等割額、後期高齢者支援金等課税額の世帯別平等割額について、現行減額措置期間後3年間4分の1減額する措置の追加等、所要の改正をします。

(承認・全)

条例

一部改正

税条例

地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、延滞金及び還付加算金について、国税の見直しに合わせて、当分の間の措置として、現在の低金利の状況に合わせて引き下げること、個人住民税における住宅ローン控除の延長及び拡充等、所要の改正をします。

(可決・全)

国民健康保険税条例

地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、東日本大震災の復興支援のための税制上の措置である被災居住用財産の敷地の譲渡に係る特例について、相続人が譲渡を行った場合にも適用となる地方税法の改正に伴う引用条項の追加等、所要の改正をします。

(可決・全)

新たな条例

子ども・子育て会議条例

子ども・子育て支援法第77条第1項の規定に基づき、子ども・子育て会議を置くものです。

(可決・全)

安養寺緑のわがまち建築条例

安養寺緑のわがまち計画区域内における建築物の敷地、構造及び用途に関する制限、建築物等の形態意匠に関する配慮事項を定めるものです。

(可決・全)

新型インフルエンザ等対策本部条例

新型インフルエンザ等対策特別措置法第37条において準用する第26条の規定により、インフルエンザ等対策本部を置くものです。

(可決・全)

その他

葉山東小学校大規模改修工事（建築工事）

契約の締結について、議会の議決を求めるものです。

契約金額 255,082,800円（税込）

契約相手方（株）桑原組 湖南支店

(可決・全)

琵琶湖流域下水道協議会規約を定めることを関係地方公共団体が協議することについて

解散した滋賀県下水道公社の理事会にかわる組織として、滋賀県及び関係市町で構成する琵琶湖流域下水道協議会を設置することについて、議会の議決を求めるものです。

(可決・全)

市道 3路線認定

市道新設改良事業のため中ノ井川右岸線、開発による道路寄附・帰属のため川辺南平団地4号線、安養寺東街区13号線を認定するものです。

(可決・全)

平成24年度 一般会計・特別会計補正予算（専決）

会計名	補正額	予算総額	主な内容	審議結果
一般会計	9542万6千円(減額)	264億4872万5千円	土木費・民生費等の減額	承認・別表
国民健康保険特別会計	9684万5千円(減額)	48億7600万6千円	高額医療費等の減額	承認・全
介護保険特別会計	2159万円(減額)	25億3921万7千円	居宅介護サービス等給付費の減額	承認・全
公共下水道事業特別会計	5227万6千円(減額)	27億7108万4千円	一般管理経費等の減額	承認・全



平成25年度 一般会計補正予算

会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
一般会計	3030万1千円(増額)	397億4630万1千円	総務費の増額	可決・全

賛否が分かれた案件の採決結果一覧

多=賛成多数(可決・承認) 少=賛成少数(否決・不承認) ○…賛成 ●…反対 欠…欠席

件名	議員名	採決結果	新 政 会							公 明		再 生	ネ ッ ト ワ ー ク			共 産 党			
			山本 章	下田 善一郎	北川 健二	寺田 範雄	三浦 悟	林 史代	上田 忠博	片岡 勝哉	高野 正勝	小竹 庸介	櫻井 浩司	國松 篤	田村 隆光	林 好男	中村 昌司	太田 浩美	大西 時子
■ 議 案																			
平成24年度一般会計補正予算		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
市長、副市長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
職員の給与の特例に関する条例		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
■ 意 見 書																			
日本国憲法第96条の改正に反対する意見書		少	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	○	

*議長(藤田啓仁議員)は採決に加わらない *党派名の略称は次のとおり
公明→公明栗東 再生→栗東再生 ネットワーク→栗東市民ネットワーク 共産党→日本共産党議員団

第2回子ども議会を開催

平成25年11月30日(土)、市役所4階の議場において、子ども議会を開催することに伴い、子ども議員を募集します。

詳しくは、広報りっとう(8月号本文5ページ)に掲載していますのでご覧ください。

委員会報告

環境建設常任委員会

安養寺緑のわがまち 建築条例の制定

当委員会に付託された案件6件について審査しました。

平成24年度栗東市一般会計補正予算について、委員から、木造住宅耐震診断などの事業補助金が大きく減額となっているが、補助金等に対する市民への周知はどのように行っているのか、との質疑に対し、当局から、広報やホームページへの掲載、窓口での説明、また、関係団体にも協力を依頼し、周知に努めている、との答弁がありました。

平成24年度栗東市公共下水道事業特別会計補正予算について、委員から①受益者負担金が減額されている原因は、②家用汚水ポンプの設置計画は、との質疑に対し、当局から①当初は、謄本などで確認をしているが、山の斜面などによる調整があり、

減額となっている。②市内全域で17箇所、その内8箇所が設置済である。残り9箇所が未設置で、その内6箇所が補助の対象、との答弁がありました。

安養寺緑のわがまち建築条例の制定について、委員から、建築物の高さ制限は設けているのか、との質疑に対し、当局から、高さ制限を設けることにより、中心市街地の形成を停滞させる要因となるため、今回の条例には設けていない、との答弁がありました。

当委員会に付託された6議案について、多くの質疑の後、全員一致で原案のとおり可決・承認すべきものと決しました。



安養寺地区の現況

文教福祉常任委員会

栗東市子ども・子育て会議条例 の制定

当委員会は付託された案件3件について審査しました。また、審査に先立ち、教頭2人体制となった栗東西中学校の現場視察を行いました。

平成24年度栗東市一般会計補正予算について、委員から①私立保育所運営補助のうち、低年齢児保育保育士等特別配置事業補助金の減額は、待機児童数に関連するものか。②予防接種事業のうち委託料の減額は、子宮頸がん予防ワクチン接種時の副作用報道の影響があるのか、との質疑に対し、当局から①1・2歳児43人以上での加配を3園が



栗東西中学校を現場視察

予定していたが、実績は1園となったための減額であり、待機児童数とは関連しない。②3ワクチ

ンは当初80%の接種率を見込んでいたが、45%～55%の接種率となった。子宮頸がん予防ワクチンについては報道以前から副作用の情報もあり、接種を控えられたと考えられる、との答弁がありました。

栗東市子ども・子育て会議条例の制定について、委員から①子ども・子育て会議の委員数やその構成メンバーについて。②委員の構成メンバーに障がい者団体枠がないが、そのことについての考えは、との質疑があり、当局から①委員数や構成メンバーについては現在検討中であり、委員の選任については、教育・保育・子育てのバランスを考慮し、子育て当事者や、子育て支援事業者の意見が反映できるようにしたい。②所属団体に特化することなく、包含した視点で委員の選任については考えている、との答弁がありました。

当委員会に付託された3議案について、多くの質疑の後、全員一致で原案のとおり可決・承認すべきものと決しました。

総務常任委員会

同報系防災行政無線自動電話 応答設備の設置

当委員会に付託された案件7件について審査しました。

平成24年度一般会計補正予算について、委員から①衆議院議員選挙の期日前投票における人材派遣対応の詳細は。②臨時財政対策債の限度額が増額となった理由は、との質疑に対し、当局から①解散から投票まで1ヶ月であったことから、従来からの業者1社による随意契約を行い、経費的には半額となった。17時30分から20時までは職員が対応にあたった。②国による地方交付税計算の中で、発行額が確定したため、との答弁がありました。

栗東市税条例の一部を改正する条例の制定について、委員から①延滞金の減額理由は。②減額による影響額は、との質疑に対し、当局から①国税の見直しによる地方税の見直しである。②年間36.4%の減額を見込んでいる、との答弁がありました。

平成25年度栗東市一般会計補正予算について、防災無線対応について、委員から①市民からの自動電

話応答の問合せ専用ダイヤルを設けるのか。②聞こえないという要望に対する対応は。③音や光による情報伝達手段の一考は、との質疑に対し、当局から①専用回線は2本とする。②スピーカーの増設や向きを変える。自治会館に個別の受信機を設置し、拡声放送するなど対応している。③今後整理する中で、できるかできないかを含めて対応する、との答弁がありました。

当委員会に付託された7議案について、多くの質疑の後、全て原案のとおり可決・承認すべきものと決しました。



同報系防災行政無線親局設備…操作卓

個人質問

6月17日・18日の2日間、10人が質問しました。
質問と答弁の要旨をお知らせいたします。なお、詳細内容は後日、
市のホームページ等に掲載します。

小学校給食での 食物アレルギーについて 北川 健二 議員

問 アレルギー反応が懸念される食物への対応は。

答 アレルギー物質を表示した加工食品材料配合表を希望される保護者に配布し、周知している。

問 食物アレルギーのある児童生徒数と取り組みは。

答 本市では5月末現在で80名であり、毎年、アレルギー疾患について配慮を要する児童生徒の把握と、安全管理に努め、保護者と学校とが常に連携を図っている。

竹村コレクションについて

問 平成22年9月～10月に歴史民俗博物館で開催された「鉄道模型の世界」の展示会の成果と来館者数は。

答 竹村氏から寄贈頂いた1,000点の資料を公開し、来館者数は5,931人で多くの住民に歴史と文化に触れていただいた。



「鉄道模型の世界」展示会の様子

問 今後のコレクションの活用方法は。

答 平成27年度に博物館25周年事業として公開展示を行う計画である。

自転車事故防止マナー教育 及び青少年の育成 小竹 庸介 議員

問 小中学生の交通ルール・マナー教育の取り組みは。

答 各校の年間計画に基づき、学年に応じた交通安全教室を実施している。

問 自転車免許交付についての市の考えは。

答 昨年度、治田西小学校で希望する児童が参加し実施されたが、今後は、関係機関と協議し各学校に呼びかけていく。

問 自転車運転の責任及び任意保険の加入推進についての対応は。

答 スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を実施した学校もあり、TSマーク*

の周知とともに指導する。

問 今年度の通学路の安全対策についての対応は。

答 関係機関と再度現地調査を実施し、必要な箇所については実施する。

問 非行少年を生まない社会づくりの取り組み対応は。

答 警察等の協力で、小学生児童にスライド劇を取り入れ、初発型非行防止の指導や言葉によるいじめ予防啓発指導を行なっている。また、昨年は、子育てについての保護者等からの相談が増加し、関係者と連携を図り、解決に導く組織的な対応に努めている。



加盟店に貼られているマーク

* 自転車安全整備士による点検・整備された「普通自転車」に貼るシール。シールの色によって付帯保険の補償内容が違う。

中山間地の過疎高齢化対策について

山本 章 議員

問 過疎化しつつある農山村の課題に対する取り組みは。

答 担い手を中心に、集積や規模拡大、集落ごとの課題解決に向け

取り組む。法面の草刈り・維持管理・獣害対策等については、国の中山間地域等直接支払交付金（都道府県知事が指定する特認地域の



山間地の急傾斜の様子

法面の傾斜1/20以上の急傾斜地等が対象)の活用を検討する。

くりちゃんタクシー見直しについて

問 くりちゃんタクシーの乗り継ぎ回数を含めた時間短縮により利便性はアップできないのか。

答 民間バスとの待ち時間の解消やバス停留所の増設など課題を整理する中で、その対応について検討する。

問 利用者登録制度を設けてはどうか。

答 今後、費用対効果、利用者にとっての利便性、本市にとっての公共交通情勢、関係法令との整合性を図る必要もあり、関係機関等、連携する中で検討する。

個人質問

本市のSNS※活用を含めた
戦略的広報について
林 史代 議員

問 Facebook等を利用し、元気都市栗東のアピールや地域の情報を発信することについての考えは。緊急時はホームページも使えなくなる可能性もあり、バックアップ的側面からも有用だと考えるがその対応は。

答 SNSの活用については他市を参考に、緊急時をはじめとした、情報発信のあり方や内容を検討する。

問 栗東市のゆるキャラ「くりちゃん」を公式Facebookで発信し、「ひこにゃん」のように栗東市の観光戦略



等に運用するつもりはないのか。

答 現在、ゆるキャラ申請登録や商標登録について、整理中。関係課等とも運用について協議・検討したい。

学校の安全対策について

問 学校での防災等の訓練は、校内だけではなく、地域や保護者と「災害時に備えての話し合い」が必要ではないのか。

答 学校防災マニュアルは毎年見直しており、様々な事例を想定し地域や家庭と連携を図るよう各校に指導する。

※ SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略)

Facebookやmixiなど、人と人とのつながりを促進・サポートするコミュニティ型のウェブサイトのこと。

きらりフルチャレンジ
「くりちゃん検定テキスト」について
上田 忠博 議員

問 検定の認定率は。また、認定をクリアできない児童生徒の対応は。

答 本年度4月実施の結果、小学校全体で漢字96%、計算89%、中学校全体で漢字72%、計算65%であり認定をクリアできていない児童生徒へは、「振り返り学習」期間をもうけ、再チャレンジを行い、



くりちゃん検定テキスト

最終的に小学校でほぼ100%、中学校で約80%の認定となる。

問 通常授業のカリキュラムと「くりちゃん検定テキスト」との整合性をどのようにとっているか。

答 テキストの内容は、授業の教科書内容に準拠して作成しており、日常の復習等に活用できている。

問 保護者への理解と協力は不可欠であると考えるが、現在の保護者への対応は。

答 検定前のお便り等でのお知らせや個別懇談会で取り組みについて話題にしており、今後も学習習慣の定着と学習への意欲付けとして理解を求めながら進めていく。

地方公共団体における
災害情報等の伝達について
片岡 勝哉 議員

問 災害情報伝達に関し、手段の多重化・多様化の推進、災害時要援護者への配慮、気象業務法の一部改正(特別警報)を含み、これからの全体像をどのように考えているか。

答 音での伝達だけでなく多様なバックアップ方策を検討する。また、災害時要援護者避難支援プラン等の策定と併せ、地域・自治会による情報伝達ネットワークの活用等、地域コミュニティの活性化を啓発している。

問 防災無線等非常電源の耐災害性は。

答 震度7クラスの地震まで耐えうる。無線の非常電源は24時間、市庁舎の非常電源は発電機で30分程度である。

問 様々な課題への対応は。

答 今の地域防災計画は、平成18年に作成したものであり、東日本大震災や近年のゲリラ豪雨など、想定外の事態もあり、今年度、地域防災計画の見直しの中で取り組んでいく。





個人質問

小学校・中学校教職員の 校務負担軽減を 中村 昌司 議員

問 今日の学校現場は、支援を要する子どもの増加、保護者や地域社会などからの様々な要望への対応のため多忙を極めている。教職員は毎日超過勤務をしながら何とか校務を処理し



ていることが常態化している。教育現場での超過勤務縮減に向けて、どのような対応、対策を講じ改善されようとするのか。

答 「教職員の校務負担軽減」を重点課題事業とし、会議の精選や報告書類の簡素化などにおいて少しずつ改善が進んでいる。今後は、報告書類の電子媒体でのやりとりや成績処理の電子化など、引き続き多忙化の防止・解消に向けた対策を進めていく。各学校においては、管理職の指導のもと、校務分掌の改善、年次有給休暇等を取得しやすい環境づくり、定時退勤日の設定、部活動の活動時間等の設定や地域の教育力の積極的な活用等、教職員の多忙化問題の改善に努めていく。

市街化区域内農地について

大西 時子 議員

問 本市の市街化区域内農地の保全是、まちづくり計画に大きな役割を担っていると考えるが、その取り組みをどのように進めるのか。

答 現時点での市街化区域面積の農地は13.6%を占めているが、都市化を推進する区域のため保全施策や生産緑地地区の指定は行わない。また、固定資産税は農地10a当たり89,427円であるが、減免軽減措置は考えていない。農地の保全や食料自給率の確保では、経営所得安定対策制度等を推進する。

小型家電リサイクルの取り組みについて

問 小型家電リサイクル法の施行により、鉱物資源の確保、鉛などの有害物質の環境リスク管理、廃棄物埋め立ての減量化の観点から、今後自治体で回収されていくと考えるが、その取り組みは。

答 効率的な回収方法の検討、近隣市との連帯や再資源化を行う認定業者等と調整した上で、具体的な実施方法を決めていく。



京都市の使用済小型家電回収ボックス

中学校給食の実現を

太田 浩美 議員

問 平成30年度オープン予定の学校給食センター建て替え計画には、中学校給食の実現を盛り込むべきでは。

答 中学校給食を含めた整備計画及び調理方法の検討について、今後、関係者の意見を聞き、検討項目に含め、平成26年度には一定の方向性を出さなければならないと考える。



『(新)・集中改革プラン』を見直し福祉の充実を

問 平成24年度の補正予算で基金に約6億5千万円が積み立てられている。10月実施予定の水道料金の値上げや、平成26年度『(新)・集中改革プラン』はやめるべきでは。

答 平成24～26年度の3年間で改革内容を維持することで、財政健全化が確かなものになると考えている。

問 医療に関わる助成制度について、増えた基金を有効活用し、①就学前の通院医療費の無料化、②高齢者インフルエンザ予防接種の負担軽減、③特定健診の無料化をすべきでは。

答 財政状況は予断を許さず、就学前の通院の自己負担の廃止や高齢者予防接種の負担軽減は難しい。また、特定健診は、本市では当初から原則として、利用者に自己負担を求めてきた。

個人質問

野洲養護学校の安全性は担保されるのか 田村 隆光 議員

問 当市からも多数の児童生徒が通学している県立野洲養護学校は天井川を含む2本の川の交差するデルタ地帯にあり、「砂防指定地」に指定されている地域に建設されている。その安全性に対する栗東市の見解は。



光善寺川土手横の野洲養護学校

答 立地の安全性については、県が安全確認を行い建設されたものと考えている。

問 特別支援学校も児童生徒一人当たりの面積については基準が政令等で定められている。しかし、今後400名を超す児童生徒を受け入れるため、新たに増築を計画しているとのことだが、校舎又は屋内運動場などは、障がいを持つ子どもたちの教育を行うのに必要最低限度の面積が確保されているのか将来的な計画性に不安を感じるが、問題はないか。

答 面積等の基準については確認するが、県は昨年10月に特別支援学校への生徒増対策について対応策をまとめたので、学習の場を確保できるよう対策を進めていただいていると考える。

第3回 臨時会



議長
藤田 啓仁



副議長
林 好男

5月31日に開催された平成25年第3回臨時会では、議長・副議長を決定しました。また、各常任委員会委員（10ページにそれぞれ紹介）及び議会運営委員会委員が決定しました。

就任あいさつ

市民の皆様には、平素より市政並びに市議会に対しまして多大なるご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

私たちは、去る5月の臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長並びに副議長の重責を担わせていただくこととなり、身に余る光栄と存ずるとともに、その職務の重大さを痛感しているところでございます。

昨今の社会情勢の変化と本市の財政健全化に向けて、議会の果たす役割を十分認識し、また自治の本旨を尊重する中で、さらなる自立への道を切り拓き、山積する諸課題に取り組んでいかなければなりません。そのためにも議員自ら研鑽を深め、より一層の創意工夫と努力を積み重ねながら、議会改革を柱に、市民の皆様の期待に応えられる議会運営に全力を傾注して、取り組んで参る所存でございます。皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

特別委員会等委員構成

議会運営委員会	議会改革特別委員会	地域活性化対策特別委員会	産業廃棄物最終処分場対策特別委員会	議会広報編集特別委員会
委員 長 山本 章 副委員 長 國松 篤 委 員 高野 正勝 太田 浩美 北川 健二 寺田 範雄	委員 長 高野 正勝 副委員 長 中村 昌司 委 員 太田 浩美 田村 隆光 山本 章 北川 健二 櫻井 浩司	委員 長 上田 忠博 副委員 長 小竹 庸介 委 員 國松 篤 太田 浩美 下田善一郎 北川 健二 中村 昌司 寺田 範雄 林 史代	委員 長 櫻井 浩司 副委員 長 三浦 悟 委 員 高野 正勝 田村 隆光 林 好男 山本 章 大西 時子 片岡 勝哉	委員 長 中村 昌司 副委員 長 片岡 勝哉 委 員 林 好男 大西 時子 小竹 庸介 櫻井 浩司 三浦 悟

議会報告会・懇談会を開催しました

市民に分かりやすく開かれた議会をめざして、全議員による市議会で初めての「議会報告会・懇談会」を5月25日、26日の2日間、コミュニティセンター4会場において開催し、70名の皆さまにご参加いただきました。

この議会報告会・懇談会は、「議会基本条例」のパブリックコメントの一環として行いました。

最初に、議長より挨拶と議会報告会の趣旨を説明した後、3月定例会の審査内容を各常任委員会委員が報告しました。

続いて、「議会基本条例」をテーマとして、条例制定に向けて取り組んでいる経過や内容について説明を行い、報告や説明に対して質疑の後、ご参加いただいた市民の皆さまとの意見交換の場を持ち、議会や市政に関しての地域の現状や課題など、貴重なご意見をいただきました。今回の議会報告会を通して得られた皆さまのご意見などから会議進行や報告内容、開催周知など、さらに工夫を加えながら、次回以降、より多くの方々にご参加いただく中で、報告会・懇談会が開催できるよう内容の充実をめざして取り組んでまいりますので、皆さまのご指導、ご協力をお願い申し上げます。



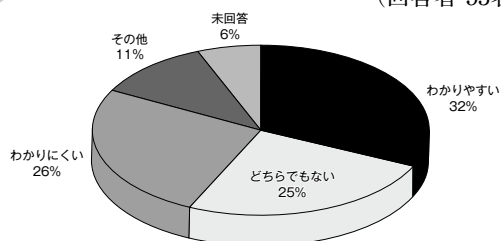
コミュニティセンター大宝での様子

市民の皆さまのご参加ありがとうございました。

アンケート結果

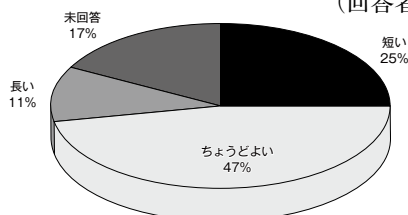
内容はわかりやすかったですか？

(回答者 53名)



議会報告会・懇談会の時間はどうでしたか？

(回答者 53名)



ご意見・ご感想

- ・初めての懇談会であり、今後内容の充実と開催PRが必要。
 - ・市議会の取り組みを勉強させて頂きました。基本条例制定前に「議会報告会」の実施は素晴らしい。
 - ・行政用語がなかなかわかりにくかった。報告会は今後もやってもらいたい。
 - ・地域における諸課題についての取り組み状況の報告があればいいのではないかと。
 - ・懇談会という名称の割に、懇談する時間が短い。
- その他、多数のご意見ありがとうございました。



議長 藤田 啓仁
新政会

(議長は常任委員会に所属しない)

常任委員会委員

の紹介

氏名 (◎委員長、○副委員長)
会派 (※会派代表)

総務 常任委員会



◎北川 健二
新政会



○片岡 勝哉
新政会



國松 篤
栗東市民ネットワーク



副議長 林 好男
栗東市民ネットワーク



山本 章
※新政会



大西 時子
日本共産党議員団

環境建設 常任委員会



◎寺田 範雄
新政会



○小竹 庸介
公明栗東



田村 隆光
栗東市民ネットワーク



下田 善一郎
新政会



三浦 悟
新政会

文教福祉 常任委員会



◎高野 正勝
※公明栗東



○中村 昌司
※栗東市民ネットワーク



太田 浩美
※日本共産党議員団



櫻井 浩司
※栗東再生



林 史代
新政会



上田 忠博
新政会

傍聴 にお越しく下さい

本会議・委員会審査は、どなたでも自由に傍聴できます。開会時間は、9時30分からです。日程について、現段階ではあくまで予定であるため、変更になる場合がありますのでご了承下さい。

9月定例会の予定

9月4日	本会議(議案上程等)
11日~13日	本会議(個人質問)
17日~20日	各常任委員会
25日	本会議(委員長報告・採決)

<問い合わせ先> 議会事務局 TEL 551-0137

編集後記

酷暑の毎日が続いておりますが、くれぐれもご自愛のほどお祈りいたします。

さて、『りっとう議会だより』は今月号より、改選された新しいメンバーによって編集させていただくこととなりました。

市議会では現在、議会改革を進めるため「栗東市議会基本条例」の制定に向けて取り組んでおりますが、『りっとう議会だより』も市民に「議会が見える」広報活動を行うため、今後も工夫を重ねやすい、読みやすい広報誌を目指して編集してまいります。今後ともご指導のほどお願い申し上げます。

議会広報編集特別委員会

委員長 中村 昌司 副委員長 片岡 勝哉
委員 林 好男 大西 時子 小竹 庸介
櫻井 浩司 三浦 悟